

やまぐち産業イノベーション戦略

産業戦略プロジェクトについて

【進捗状況報告】

山口県産業戦略本部

2019(令和元)年 8月

【産業戦略プロジェクトの概要・進捗状況等】

1	瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト	2
1-1	企業の国際競争力強化に資する港湾機能の強化(港湾)	3
1-2	「産業の血液」工業用水の安定供給体制の強化(工水)	3
1-3	迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備(道路)	5
1-4	国際競争力の強化に向けたコンビナート連携企業間の連携促進(コンビナート)	7
2	自動車新時代に対応したイノベーション創出プロジェクト	9
3	大規模産業用地活用促進プロジェクト	11
4	地域中核企業創出・成長支援プロジェクト	13
5	地域中核企業等立地促進プロジェクト	15
6	高度産業人材確保・活用支援プロジェクト	17
7	産業インフラ輸出促進プロジェクト	19
8	地域産業IoT等導入促進プロジェクト	21
9	スタートアップ企業立地促進・育成プロジェクト	23
10	新山口駅北地区拠点施設整備支援プロジェクト	25
■	重点成長分野に関連する主な施策・事業展開	27
		29

産業戦略プロジェクトの概要・進捗状況等

プロジェクト

No 1-1

瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト
〔企業の国際競争力強化に資する港湾の機能強化〕

プロジェクトの概要

【取組目標】石炭共同輸送実施回数
7回(2017年度)⇒30回/3年(2018-2020年度)

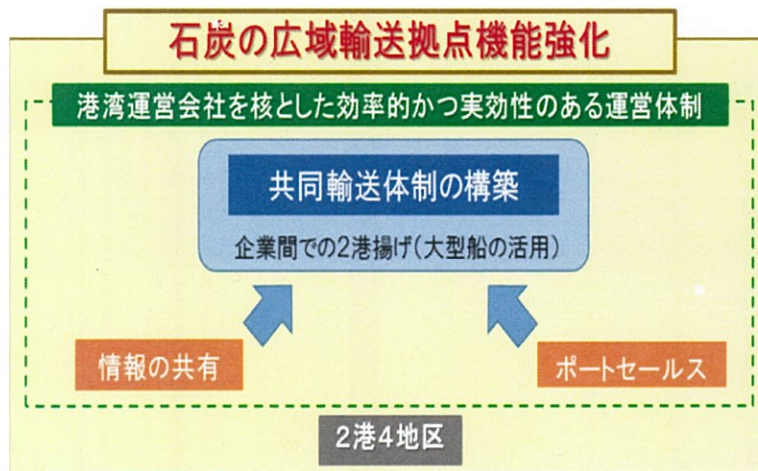
● 「国際バルク戦略港湾育成プログラム」に沿った取組の推進

- ・ 国、民間事業者との連携の下、大水深公共棧橋や荷さばき施設等の整備推進（徳山下松港、宇部港）
- ・ 港湾運営会社を核として、西日本における広域の石炭需要や石炭輸送の動向を把握、大型船を用いた石炭の共同輸送の促進

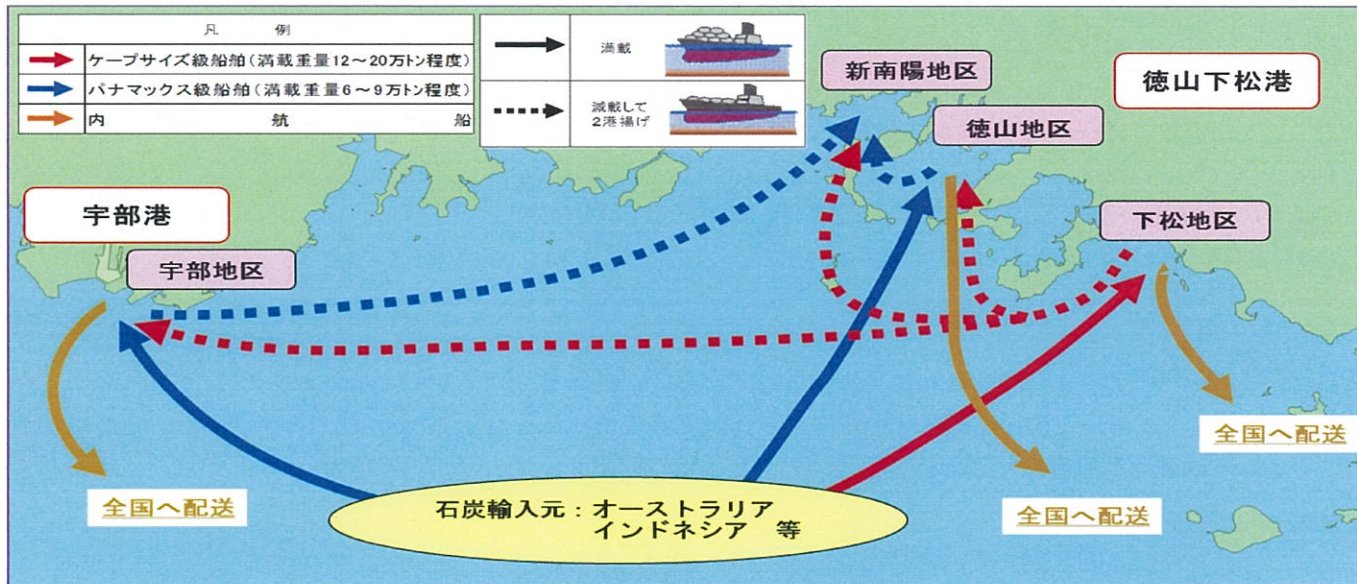
● 県内各港の特性に応じた港湾の機能強化

- ・ コンテナターミナルの再編整備（徳山下松港、三田尻中関港）、臨港道路の整備（岩国港）、フェリーターミナルの再編整備（徳山下松港）等、各港の特性に応じた港湾整備の推進
- ・ ポートセールス等の更なる推進

● 石炭の広域輸送拠点機能強化体制



● 国際バルク戦略港湾育成プログラム（多様な輸送システムの構築）



進捗状況等について

【プロジェクトにおける主な取組】

- 棧橋新設、岸壁延伸、航路・泊地の浚渫、荷役機械の整備等
- 港湾運営会社を核とした大型船を用いた石炭の共同輸送の促進
- コンテナ貨物の増加等に対応した国際拠点港湾及び重要港湾の整備
- 港湾物流の効率化、コスト縮減に向けたソフト施策の充実

進捗状況	<p>○徳山下松港、宇部港において、棧橋新設、航路浚渫等を実施</p> <p>○徳山下松港特定貨物輸入拠点港湾利用推進協議会において、共同輸送の取組強化について協議</p> <p>○徳山下松港や三田尻中関港において、コンテナターミナルの再編整備を進めるなど、県内各港の整備を実施</p> <p>○宇部港他のポートセールスにおいて、利用者ニーズ把握と新規利用者の掘り起こしを継続</p>
指標(実績値)	石炭共同輸送実施回数: 11回(令和元年7月末)
今後の動向等	<p>【ハード面】</p> <p>○徳山下松港、宇部港において、国際バルク戦略港湾関連施設の整備を継続</p> <p>○引き続き、コンテナターミナルの再編整備、臨港道路の整備、岸壁改良(耐震)等、県内各港の特性に応じた港湾整備を推進</p> <p>【ソフト面】</p> <p>○徳山下松港の石炭の共同輸送を促進するための具体的な取組等を定めた特定利用推進計画を策定し、取組を強化</p> <p>○徳山下松港新南陽地区で港湾運営会社への行政財産の貸付を開始</p> <p>○船舶の大型化に対応するため、企業と連携し、航行安全対策の策定を推進</p>
令和元年度 関連予算(事業)	<p>※土木建築部所管事業 (主な事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載)</p>

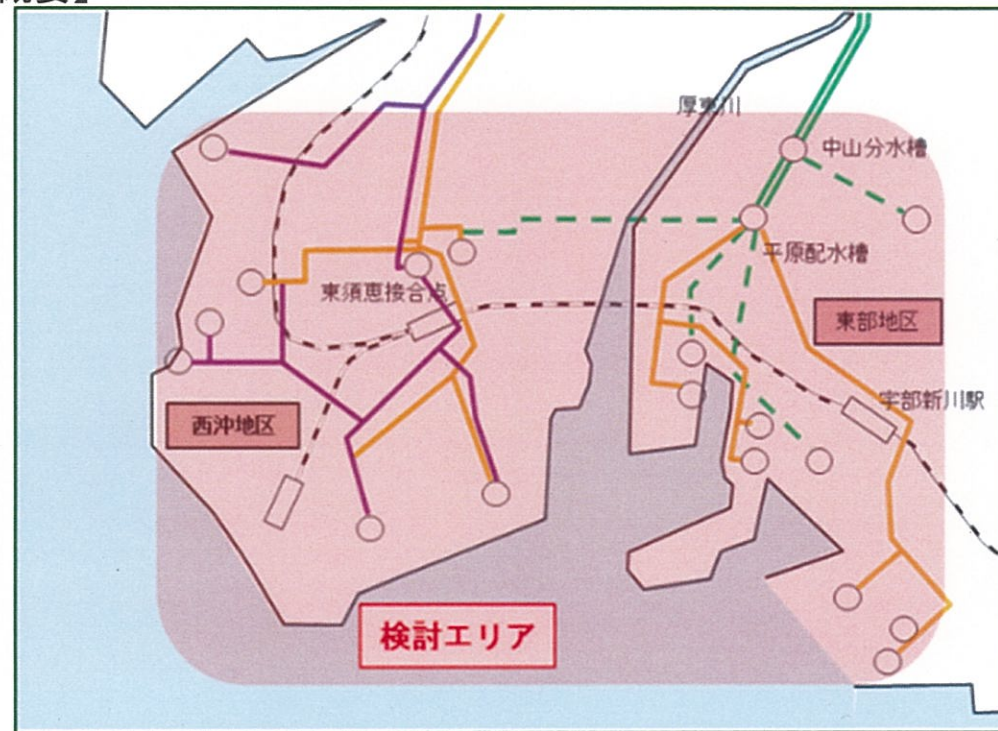
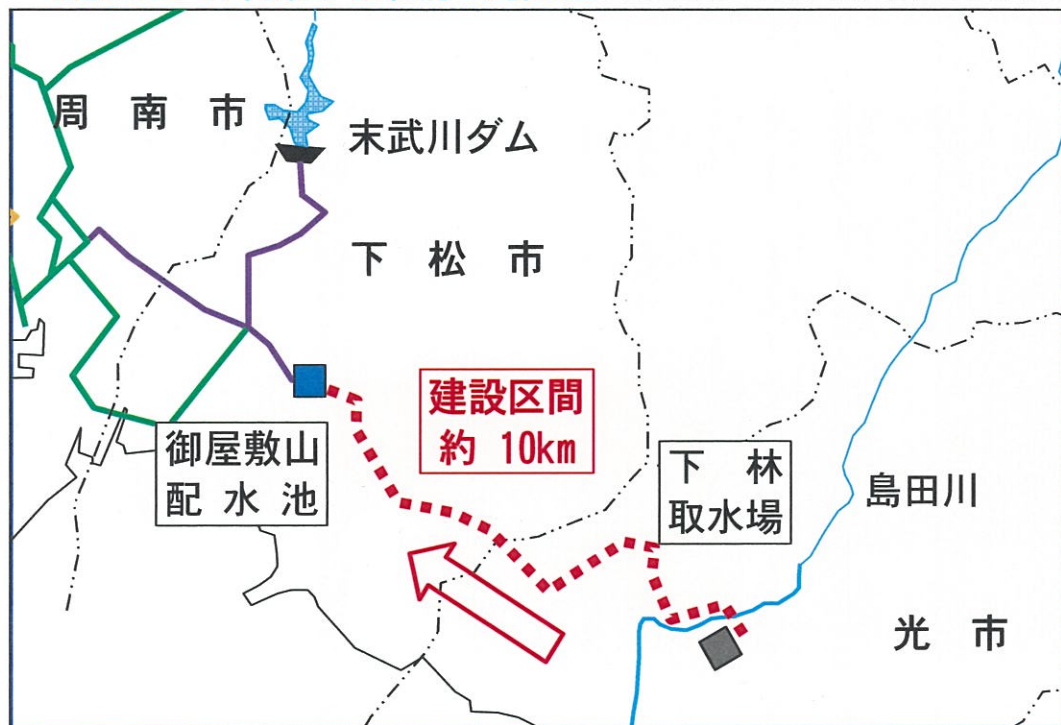
瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト 〔「産業の血液」工業用水の安定供給体制の強化〕

プロジェクトの概要

【取組目標】工業用水道管路の更新整備延長(累計)
2. 9Km(2017年度)⇒3. 9Km/3年(2018-2020年度)

● 「産業の血液」工業用水の安定供給体制の強化

- 水資源・渇水対策（周南地区〔島田川工業用水道事業による工業用水の安定供給、和田取水の川上ダムへの一時貯留、下松市工業用水による応援給水制度の効果的運用等〕、宇部・山陽小野田地区〔企業の事業再編や投資動向等を踏まえた供給体制の再構築等〕）
- 料金制度の効果的な運用（「二部料金制」の運用）
- 施設の老朽化対策等の推進 【島田川工業用水道事業の概要】 【宇部・山陽小野田地区再構築の概要】



進捗状況等について

【プロジェクトにおける主な取組】

【ハード面】

- 島田川工業用水道事業
- 供給体制の再構築(宇部・山陽小野田地区)
- 管路等の老朽化対策の推進

【ソフト面】

- 水運用の見直し等による渇水対策の強化
- 供給体制の再構築(宇部・山陽小野田地区)
- 二部料金制の運用
- 隧道(トンネル)の点検及び補修・補強

進捗状況	<p>【ハード面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○導水トンネル、導水管、ポンプ場建屋、ポンプ場機械・電気設備等の整備を実施(島田川工業用水道事業) ○配水管路等の施設整備に係る詳細設計を実施(供給体制の再構築) ○厚東川2期ルートバイパス管布設事業や木屋川工業用水道二条化事業等を実施(管路等の老朽化対策) <p>【ソフト面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○和田取水の川上ダムへの一時貯留や宇部丸山ダムにおける貯水システムを効果的に運用 ○工業用水の需給状況の変化に対応した水運用について検討(渇水対策等) ○周南、岩国、宇部・小野田・美祢地区において二部料金制を運用 ○隧道(トンネル)の点検及び補修を実施
指標(実績値)	工業用水道管路の更新整備延長 : 3.2km(令和元年7月末)
今後の動向等	<p>【ハード面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、導水トンネル、導水管、ポンプ場建屋、ポンプ場機械・電気設備等の整備を実施 ○企業の投資動向等に対応した施設整備に係る詳細設計及び配水管布設工事を実施 ○「施設整備10か年計画」に基づき、施設の老朽化対策等を計画的・重点的に実施 <p>【ソフト面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○周南地区における和田取水の川上ダム一時貯留や下松市工業用水による応援給水制度、宇部・山陽小野田地区における宇部丸山ダム貯水システムの効果的な運用 ○工業用水の需給状況の変化に対応した水運用の検討(渇水対策等)を実施 ○企業のコスト競争力強化に向けた二部料金制の運用
令和元年度 関連予算(事業)	<p>※企業局所管事業 (主な事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載)</p>

瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト
〔迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備〕

プロジェクトの概要

【取組目標】

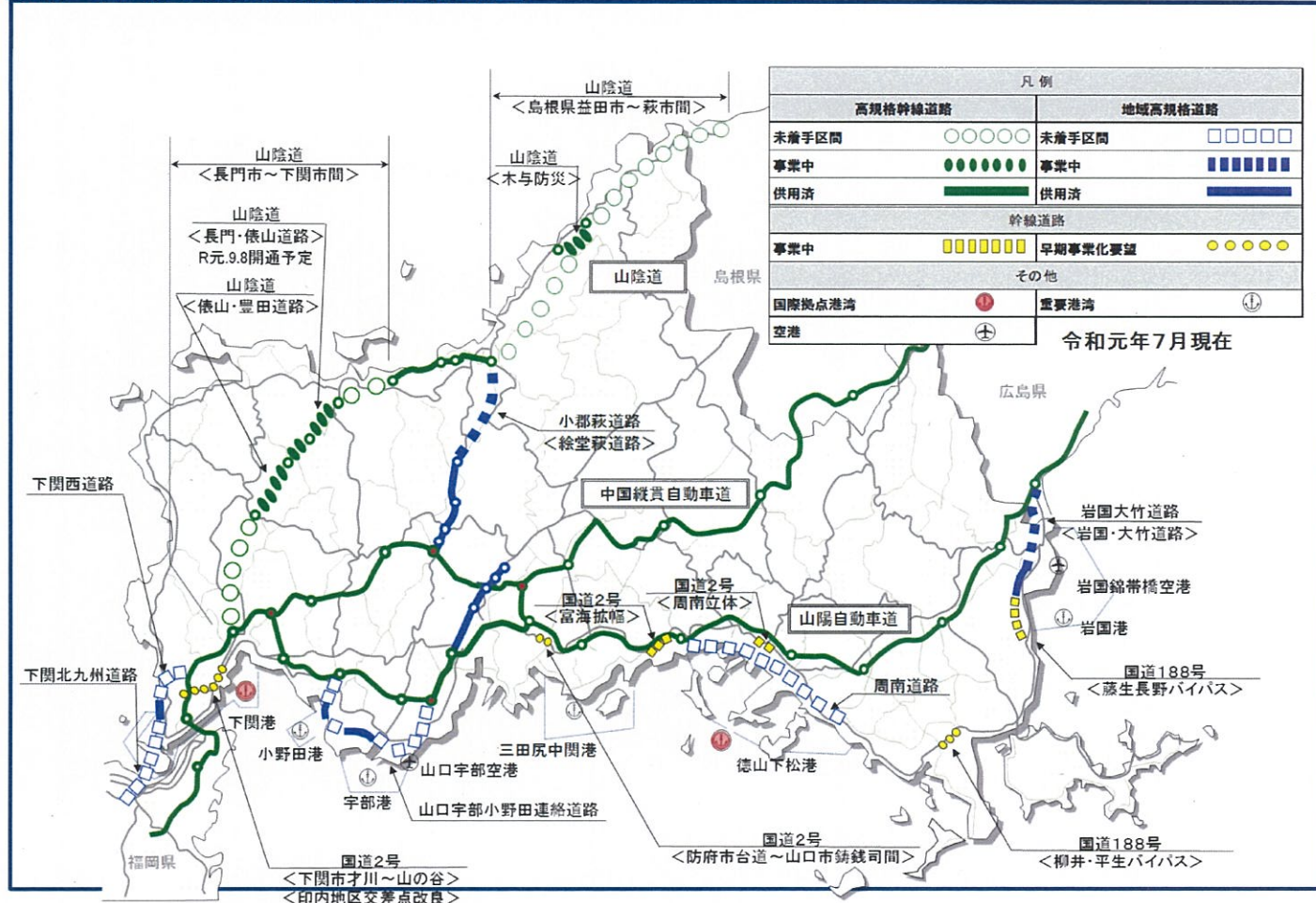
国道・県道の整備完了延長：30Km/3年(2018-2020年度)
緩和する主要渋滞箇所数：3箇所/3年(2018-2020年度)

● 迅速かつ円滑な物流を支える幹線道路網の整備等を促進

【山口県の幹線道路網】

- 高規格幹線道路の建設促進
(広域的な連携の強化に資する山陰道の建設を促進)
- 地域高規格道路等の建設促進
(地域高規格道路や、港湾・空港等とのアクセス向上に資する国道・県道の建設を促進)
- 特殊車両通行許可制度※の改善
(大型車両の通行を誘導すべき道路の指定による特殊車両通行許可制度の改善を推進)

※ 道路の保全と交通の危険防止を図るため、一定の寸法や重量等を超える車両は、通行を制限しているが、物流の効率化等を目的に制限値を超えた車両について「特殊車両」として道路管理者が許可し通行を可能にする制度



進捗状況等について

【プロジェクトにおける主な取組】

- 山陰道の整備促進(長門・俵山道路、俵山・豊田道路、木与防災)
- 岩国・大竹道路の整備促進、小郡萩道路(絵堂萩道路)の整備促進
- 特車許可制度の改善に向け、利用者ニーズの把握、輸送ルートを選定等、大型車両の通行を誘導すべき道路の指定(国への要望)

進捗状況	<p>○山陰道の「長門・俵山道路」について、令和元年9月8日供用開始が決定。 山陰道の「俵山・豊田道路」や「木与防災」について、早期の工事着手に向け、用地買収を実施中。</p> <p>○山陰道の「大井～萩」間について、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施中。</p> <p>○国道2号岩国・大竹道路について、調査設計を実施中。</p> <p>○小郡萩道路(絵堂萩道路)について、「絵堂～明木」間で土工やトンネル、橋梁等の工事を実施中。</p> <p>○大型車両の通行を誘導すべき道路の指定について、国土交通省中国地方整備局に対して、利用者ニーズを踏まえて選定した輸送ルートの追加指定を要望。(令和元年度も継続して実施)</p>
指標(実績値)	<p>国道・県道の整備完了延長 : 11.4km(令和元年7月末)</p> <p>緩和する主要渋滞箇所数 : 0箇所(令和元年7月末)</p>
今後の動向等	<p>○山陰道については、全線の早期整備につなげるため、国への働きかけをより一層強化するとともに、アクセス道路の検討を進めるなど、関係市町と連携しながら積極的に取り組んでいく。</p> <p>○岩国・大竹道路については、全線の早期整備につなげるため、よりスピード感を持って整備するよう国へ働きかけるとともに、事業の円滑な推進に向けた環境整備に努めるなど、国・県・市で緊密に連携しながら積極的に取り組んでいく。</p> <p>○小郡萩道路(絵堂萩道路)については、引き続き、所要の事業費の確保に努め、全線の早期完成を目指していく。</p> <p>○大型車両の通行を誘導すべき道路の指定について、今後も引き続き、諸般の機会を捉え、国土交通省へ追加指定について要望する。</p>
令和元年度 関連予算(事業)	<p>※土木建築部所管事業 (主な事業については、巻末「重点成長分野に関連する主な施策・事業展開」に掲載)</p>

プロジェクト

No 1-4

瀬戸内産業競争力・生産性強化プロジェクト
 [国際競争力の強化に向けたコンビナート企業間の連携促進]

【取組目標】生産性向上等に資する大規模事業の実現
 実現(2018-2020年度)

プロジェクトの概要

●国際競争力の強化に向けたコンビナート企業間連携による「次世代型コンビナート」
 連携モデルの構築の促進

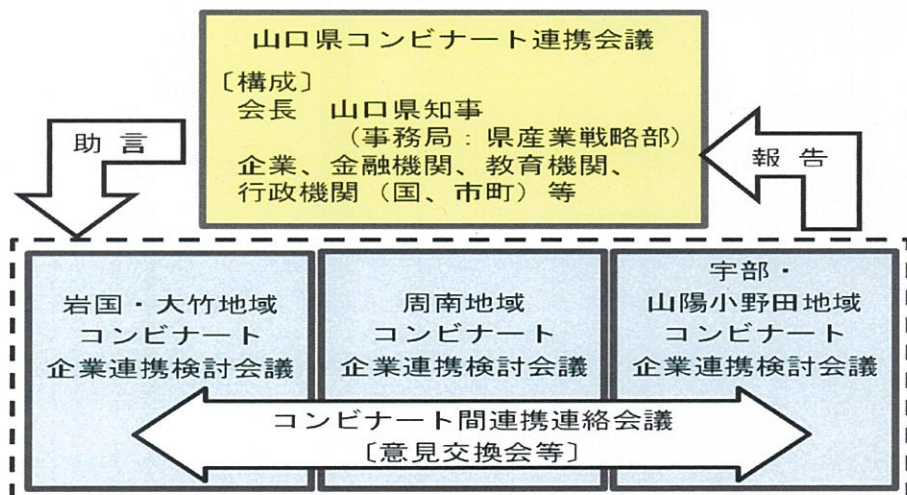
- 石油・石油化学・化学産業等の国際競争力の強化を図るため、共同物流・輸出体制の構築や原材料の融通・最適化などを行う「次世代型コンビナート」企業間連携モデルを構築

●産業イノベーションの展開に向けた研究開発力強化・人材育成

●コンビナート企業間の連携促進（地域の継続テーマ）

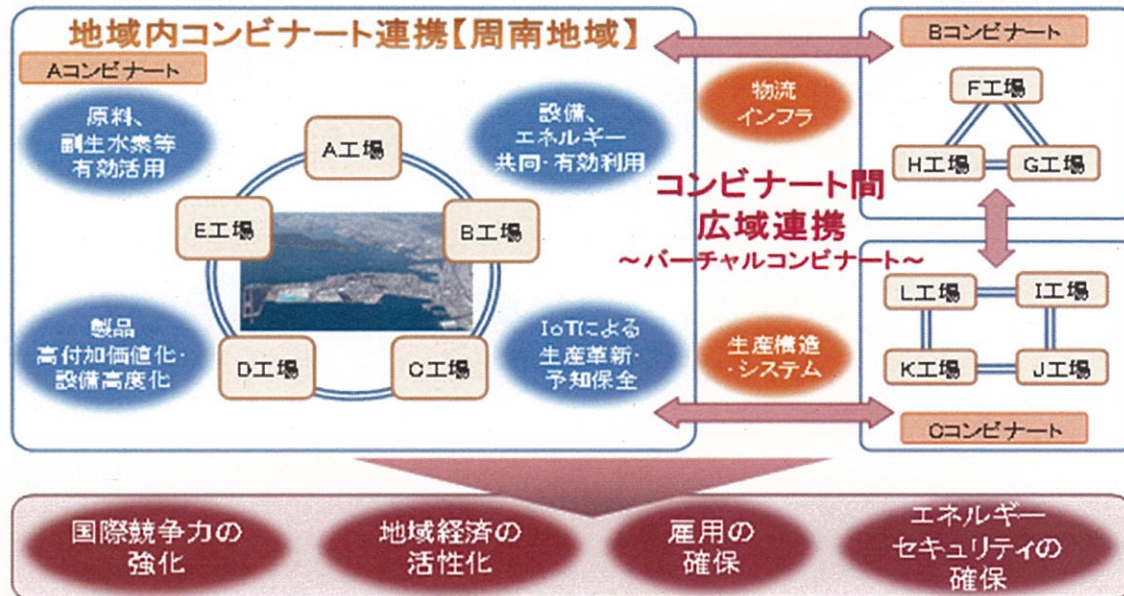
- 工場立地法に関する規制緩和や施設等の相互利活用の促進、防災対策強化の促進等

コンビナート企業間の連携促進



「次世代型コンビナート」企業間連携モデル

【事業展開イメージ】



進捗状況等について

【プロジェクトにおける主な取組】

- 「次世代型コンビナート」企業間連携モデルの構築の促進
- コンビナート企業間の連携促進(岩国・大竹地域、周南地域、宇部・山陽小野田地域)
[企業間連携会議の開催(情報交換・共有、規制緩和の要望事項を検討・実現)、資産・施設等の相互利活用の促進、大規模地震・津波に対する危機管理体制の情報交換による防災対策強化の促進、プラントオペレーターの人材育成の促進]

進捗状況	<p>○周南地域における「次世代型コンビナート」企業間連携モデルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別連携事業の実施(コンビナート燃料分解重油連携事業) ・大規模連携事業の実施に向けた調整 ・「次世代型コンビナート」連携モデルの構築への支援について、政府要望を実施(令和元年6月) <p>○コンビナート企業間の連携促進(3地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビナート企業間連携座長企業等意見交換会(平成31年3月):実務担当者会議 ・岩国・大竹地域における工場立地法の規制緩和の実現 ・山口県コンビナート連携会議(令和元年5月27日):所長・工場長会議(会長:知事)
指標(実績値)	生産性向上等に資する大規模連携事業の実現(※実施中)
今後の動向等	<p>○周南地域における「次世代型コンビナート」企業間連携の構築に向け、全体計画の具体化、個別連携事業の合意形成、事業採択に向けた調整を継続実施</p> <p>○コンビナート企業間の連携促進(3地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビナート企業間連携座長企業等意見交換会の開催 ・工場立地法に関する規制緩和等や防災対策強化の促進、産業人材の育成の促進 ・県内企業間の技術交流会の開催(県東部地域等)
令和元年度 関連予算(事業)	<p>※国事業(資源エネルギー庁予算)</p> <p>石油コンビナートの生産性向上及び強じん化推進事業費(203.6億円)</p>